



和食文化ネットワーク__北海道（2021 年 9 月 8 日号）



〇〇の秋と言えば、皆様は何を思い浮かべますでしょうか。

食に関することでは、明日 9 月 9 日は五節句のひとつ「重陽の節句」の日です。七夕（7 月 7 日）など他 4 つの節句と比較すると馴染みが薄いかもしれませんが、この日は無病息災や不老長寿を祈願する日として「菊」と「栗」がシンボルとなっております。行事食としては、「菊酒」、「栗ご飯」が、食べ物以外では「菊湯」が有名でしょうか。

起源は古来中国における風習が平安～江戸時代にかけて日本に定着したとのこと。

「菊」には邪気払い、延寿の効能があると考えられ、また旧暦の 9 月が作物の収穫時期と重なっていたことから栗を使用した料理を食べる習慣が根付いたとされます（このことから 9 月 9 日は菊の節句、栗の節句とも呼ばれ、他にもナス料理を食べる風習もあるといいます）。また、有名な「長崎くんち（九日）」の語源も重陽が由来とされる説があるようです！

何気なく食べていた行事食も、調べてみると様々な由来があって和食文化の奥深さを感じます。

さて、今回は「全日本高校生 WASHOKU グランプリ」決勝大会の結果など 4 項目をご紹介します。

気になる項目がございましたら是非ご覧下さい。

【目次】

1. 農林水産省 「国連食料システムサミット」へ、和食会議の伏木会長、村田副会長よりビデオメッセージ
2. 金沢市 全日本高校生 WASHOKU グランプリ 動画公開（第 2 報：決勝大会）
3. 和食会議 動画集「和食 伝承の技術」YouTube 公開
4. しょうゆ情報センター 「第 48 回 全国醤油品評会」審査会開催！

-
1. 農林水産省 「国連食料システムサミット」へ、和食会議の伏木会長、村田副会長よりビデオメッセージ
-

「国連食料システムサミット」は、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) の達成のためには持続可能な食料システムへの転換が必要不可欠だという、グテーレス国連事務総長の呼びかけで開催される国連主催のサミットです。

2021 年 7 月ローマでプレサミットが開催され、2021 年 9 月にニューヨークでサミットが開催される予定です。同サミットは、食料システムの視点で捉えて、その持続性の確

保を世界的な共通の課題として議論し、今後のあるべき姿を示そうとする各国ハイレベルによる初めての国際会議となります。

この「国連食料システムサミット」に向け、和食会議の伏木亨会長、村田吉弘副会長をはじめ様々な関係者からのビデオメッセージを紹介します。

https://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokusei/kanren_sesaku/FA0/FSS_video.html

2. 金沢市 全日本高校生 WASHOKU グランプリ 動画公開（第2報：決勝大会）

前回紹介させていただきました金沢市「全日本高校生 WASHOKU グランプリ」（決勝大会）が開催され、競技中の調理風景や最終審査風景模様が動画にアップされていますのでご紹介します。

グランプリ：沖縄県立浦添工業高等学校「ニライカナイ」

審査員特別賞：他の5校

チーム名	作品タイトル	学校名
1 東京タラレバ娘	「包みこむ」ころろ	東京都立農業高等学校
2 トマトメイト	フルティカ（トマト）御膳	長野県屋代南高等学校
3 ムラトリック	たきの涼味御膳	三重県立相可高等学校
4 伊勢のピリカル	伝統をつなぐNATSU御膳	三重県立相可高等学校
5 BAMBOO	今日何にする～？京地鶏粥御膳！！	福知山淑徳高等学校
6 ニライカナイ	万国津梁（世界の架け橋）	沖縄県立浦添工業高等学校

金沢市公式チャンネル <https://www.youtube.com/watch?v=-qV9KEbuSEk>

3. 和食会議 動画集「和食 伝承の技術」YouTube 公開

和食会議は、学校法人服部学園の協力により、志賀元清全国「和食」連絡会議幹事による動画集「和食 伝承の技術」をYouTubeにて公開しました。和食の食品や食材、和食の調理に欠かせない調理用具等に関する18作品です。

以下のYouTubeの再生リスト「和食 伝承の技術」から、ご覧ください。

（あわせ包丁、ぶどう山椒、経木納豆、下仁田納豆、飴細工、銅の卵焼き、茶師、馬毛の渡し器、巻きす など18作品）

<https://www.youtube.com/channel/UC-DWrqk80W8JvxGCQk53UTQ/playlists>

4. しょうゆ情報センター 「第48回 全国醤油品評会」審査会開催！

しょうゆ情報センターは、「第48回全国醤油品評会」を、7月に審査会を行い、第二次審査にノミネートされた50点から、「農林水産大臣賞」（最大5点）、「農林水産省大臣官房長賞」（最大10点）を選考し、10月1日に結果発表の予定です。

